



# 令和3年産米 生育概況

株式会社ヤマタネ  
食品本部 営業部

株式会社ヤマタネでは、公益財団法人東京都学校給食会（以下、給食会）と取り決めた産地より原料玄米を仕入れ、品質検査に合格した玄米のみを精米し皆さまの学校へお届けしています。

昨年に続いてコロナの影響で産地訪問が難しい状況のため、弊社より今年の生育状況や生産地の様子などをお届けいたします。

## 今年のお米（稲）の作況指数と 生産地の様子

給食会が取り扱う「つがるロマン」の生産地である青森県と、「あきたこまち」「萌えみのり」の生産地である秋田県はいずれも全国有数の穀倉地帯です。令和3年度の作況指数は青森県・秋田県ともに「102」（やや良）と全国平均の「101」を上回る見込み（10月25日現在作況指数より）となり、今年も素晴らしい品質のお米を収穫することができました。

青森県では、田植え後から高気圧の影響で晴天が多かったことから生育が早まったため、稲の状態を注視しながら水張りや水抜きなどきめ細かい栽培管理を行いました。また、収穫期においても、日中の晴天から一転して夕方には突然雨が降るなど田んぼの状況と登熟の歩合を見極めながら最適な収穫期を見定めることに注力しました。

秋田県では、平年より雪解けが早く（平年はゆっくりと雪解けが進むため長期的な水の供給が可能）、また降水量が少ない傾向で推移したことにより、8月5～20日頃の特に水が必要な出穂期における水の確保に苦慮しました。また、稲へ影響を与える病気や害虫が発生しないよう、田んぼの周囲の草刈り等の手入れに注力し、良いお米を収穫する事が出来ました。



## コロナの影響

毎年生産者の方々はどのような栽培方法を行うかなどを話し合う勉強会を実施しています。昨年はコロナ感染予防の観点から勉強会の開催を自粛してきましたが、今年は実施場所を会議室から圃場へ変更し、三密防止の対策のもとで徐々に少人数で再開するなど明るい兆しができました。まだまだ制約が余儀なくされる環境の中ではありますが営農指導の担当者は、情報提供や栽培指導などコミュニケーションについては密に取ることを意識し、品質向上に努めてきました。

## 安全・安心への取組みなど

給食会が取り扱うお米は、「おいしい」と同じくらい「安全」にもこだわっており、「青森県産つがるロマン」は「青森クリーンライス」、「秋田県産あきたこまち」は「あきたecoらいす」を指定しています。各県が示している慣行栽培（通常行われる栽培方法）と比較して農薬の使用成分回数を半分以下に抑えているので、農薬を節減することができ、より安全・安心なお米となっており、環境にも優しい栽培方法となっています。

「秋田県産萌えみのり」は、弊社が種子から製品までの一括管理を行っています。種子に混在している異物の除去やDNA検査を経て生産地に提供され、弊社と生産地が一体になって「萌えみのり」を栽培しています。そこで生産されたお米については、全量買い取りを行うことで、生産地と堅固なパートナーシップ関係を築き、安全・安心なお米を継続的にお届けできるよう努めています。

また、「秋田県産萌えみのり」は、農家が抱える様々な問題（田んぼを守ること、高齢化が進み後継者が不足していること、安心して生産できる環境を整えることなど）を解決することが期待されており、SDGsの17の目標のうちのいくつかと重なる点もあります。

9ページの豊島区立千早小学校での出前授業につきましても併せてご覧下さい。

## おわりに（給食会より）

産地ではDNA検査、残留農薬検査、重金属（カドミウム）検査を、本会では新米供給前に放射性物質検査を実施しております。また、学校に納品されたお米を採取しDNA検査、残留農薬検査、重金属（カドミウム）検査、細菌検査を実施しております。どうぞ安心してご利用下さい。

また、本会ホームページでは、(株)ヤマタネにご協力いただき、令和3年度のお米ができるまでの様子を写真も交えながら紹介していますので是非ご覧下さい。



▲お米ができるまで